

みずほCustomer Desk Report 2022/08/15号(As of 2022/08/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	133.34 AUD/USD
TKY 9:00AM	133.02	1.0321	137.28	1.2196	0.7102
SYD-NY High	133.89	1.0327	137.70	1.2216	0.7128
SYD-NY Low	132.89	1.0239	136.91	1.2100	0.7085
NY 5:00 PM	133.61	1.0257	136.93	1.2135	0.7122

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,761.05	424.38	日本2年債	▲0.0900%	0.0100%
NASDAQ	13,047.19	267.27	日本10年債	0.1900%	0.0000%
S&P	4,280.15	72.88	米国2年債	3.2484%	0.0237%
日経平均	28,546.98	727.65	米国5年債	2.9630%	▲0.0271%
TOPIX	1,973.18	39.53	米国10年債	2.8403%	▲0.0482%
シカゴ日経先物	28,725.00	595.00	独10年債	0.9875%	0.0230%
ロンドンFT	7,500.89	34.98	英10年債	2.1120%	0.0555%
DAX	13,795.85	101.34	豪10年債	3.4270%	0.1040%
ハンセン指数	20,175.62	93.19	USDJPY 1M Vol	9.72%	▲0.33%
上海総合	3,276.89	▲ 4.78	USDJPY 3M Vol	9.91%	▲0.26%
NY金	1,815.50	8.30	USDJPY 6M Vol	9.64%	▲0.11%
WTI	92.09	▲ 2.25	USDJPY 1M 25RR	▲0.39%	Yen Call Over
CRB指数	293.48	▲ 1.58	EURJPY 3M Vol	10.82%	▲0.16%
ドルインデックス	105.63	0.54	EURJPY 6M Vol	10.76%	▲0.09%

東京	東京時間のドル円は133.02レベルでオープン。日経平均株価が反発して寄り付くとドル円は133.50まで上昇。その後は米10年債利回りがじりじりと低下する中で、ドル円も133円割れの水準まで下落する場面も見られたが、下値は限定的となり、結局133.34レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.34レベルでオープン。朝方に英第2四半期が前期比マイナス成長となったことでポンドが下落しドルが買われる。ドル円も上昇となり一時133.88まで買われ133.85レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円ちょうど近辺でスタート。祝日明けの東京市場では日経平均株価の堅調推移が円売りをサポートし133.50まで上昇。その後、米金利の伸び悩む中、ドル円も133円台前半で上値重く推移するが、早朝にかけてクロス円の上昇とともに133.88まで買われ、133.85レベルでNYオープン。オープン直後に高値133.89をつけるが、その後は133円台後半でもみ合い。その後、米8月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を上回ると買いで反応し、133.87まで上昇するも高値更新には至らず。同時に発表された1年期待インフレ率は予想下振れ、5-10年期待インフレ率は予想上振れとまちまちの結果となっており、また今週分の材料で尽くしとなったことから方向感が出にくく、その後はレンジ内でのみみ合いが続く。午後は週末モードで積極的な取引が手控えられる中、133.50近辺で小動きとなり、結局、133.61レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.03台前半でスタート。特段の材料は見当たらなかったが、欧州勢参入後はドル買いが強まり、1.0278まで売られ、1.0279レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ売り優勢の展開継続となる。その後、ミシガン大学の消費者マインド指数発表後に米短期金利が上昇したこともあいまって、安値の1.0239をつける。午後は売りが一巡し、1.0260近辺で小動き。結局、1.0257レベルでクローズ。

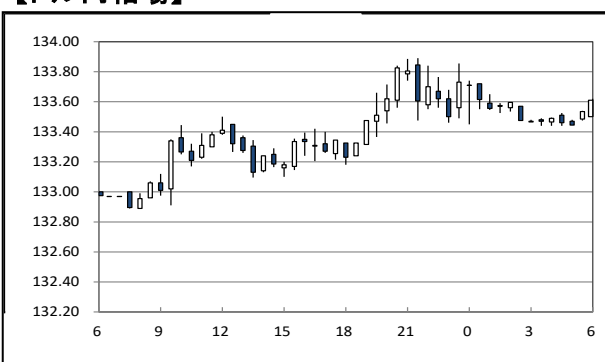
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月12日	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	2Q -0.1%/2.9%	-0.2%/2.8%
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 -0.9%/2.4%	-1.4%/1.6%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	6月 -1.6%/1.3%	-1.9%/0.8%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 0.7%	0.2%
	23:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	インフレ頭打ちの可能性ありつつ、利上げは継続すべき	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 55.1	52.5
	23:00	米 ミシガン大学1年期待インフレ率	8月 5.0%	5.1%
	23:00	米 ミシガン大学5-10年期待インフレ率	8月 3.0%	2.8%

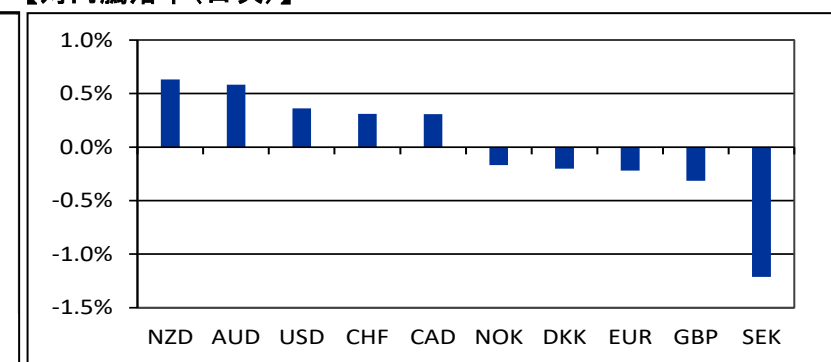
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	2Q 2.6%	-0.5%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	2Q 0.7%	-0.1%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q -0.8%	-0.5%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月 4.3%	3.9%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月 4.9%	3.1%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	6月 -	8.9%/-3.1%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月 5.0	11.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-134.50	1.0200-1.0300	136.50-138.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は続伸。10日発表の7月消費者物価指数の予想比弱めな結果を受けインフレピークアウトとの見方が浮上し週半ばからは円高が進行。しかし、金曜日にはミシガン大学消費者マインドが予想比強めな結果となると一時133.89円まで上昇。また、バーキン・リッチモンド連銀総裁が「インフレの持続を確認することを望む。」「利上げを継続する必要がある」とコメントし引き続きインフレに警戒感を示していることも相場を下支えた。本日のドル円は下値の堅い展開を予想。先週は弱めなインフレ指標に円高が進んだが132円割れの水準では底堅い推移を見せた。春先ほどの強い円安ではないものの円買い材料にも乏しい中で大きく崩れていく相場は想定しがたくこの水準であれば素直にドル高で見通したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・木村